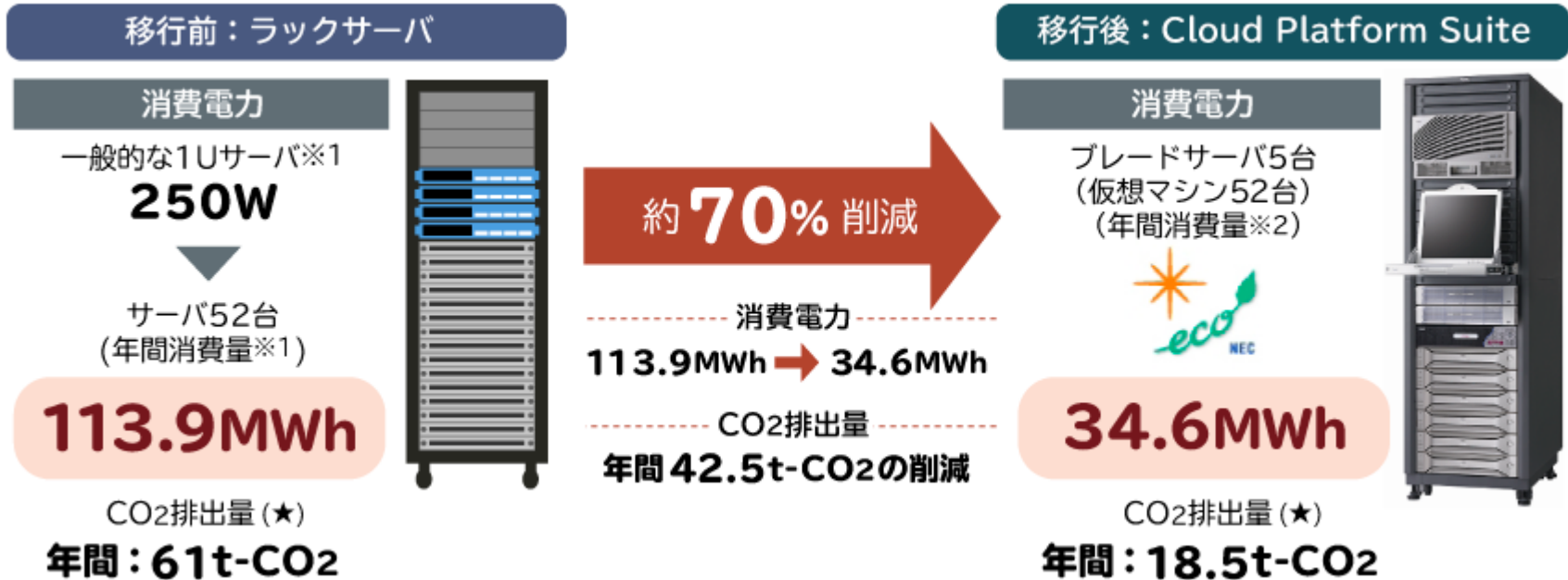


物理サーバを仮想化集約することで消費電力を低減



※1：Express5800/R120b-1の場合。1日24時間、1年365日稼働と想定し、算出。

※2：Cloud Platform Suiteエンタープライズパッケージ R5の場合。1日24時間、1年365日稼働と想定し、算出。

(★)：計算条件、1日24時間、1年365日稼働と想定。電力のCO2排出係数は、0.536 [t-CO2/MWh] にて算出。

移行前のラックサーバ構成システム（2011年度構築）と比較して、消費電力、CO2排出量ともに約70%削減の削減効果。

※最新サーバ機種対応版

導入により、CO₂排出量を70%削減。
機器使用による削減に効果大。

